

## 平成30年度アドバイザー派遣事業実施レポート

- 1 研究団体名 道德を学ぶ会
- 2 研修テーマ 「考え、議論する道德」への転換  
～よりよく生きるための基盤となる道德性の育成～

本研究会は、平成27年度より河崎小学校を拠点校として、継続的に「テーマ発問による道德の授業」についての授業研究会を実施している。今年度も引き続き、アドバイザーとして講師を招聘し、「考える道德」について学ぶことによって、児童一人一人の道德性を育むことのできる授業力の向上を目指そうと考えた。

- 3 アドバイザー  
筑波大学附属小学校 教諭 加藤 宣行先生

加藤先生は、「深く考える道德授業」の第一人者として広く知られる存在である。道德授業の転換を図るために、教師の発問力の重要性を提唱し、道德の研究組織を立ち上げて、全国の教師とともに研究に取り組まれている。そして、その成果は、自身の著書、研究雑誌から伺い知ることができる。本校児童との授業展開の姿から、今後の道德授業に不可欠である明確なねらい、またそれに即した発問づくりなど、授業改善の示唆を受けることができた。

### 4 研修の概要

日時	平成30年10月12日（金）	13:40～16:55
場所	米子市立河崎小学校（米子市河崎2677）	
日程	13:40～14:25	公開授業 本校 5年1組 「すてきなおくりもの」
	14:40～16:55	講義・演習

### 5 研修の成果

講師と本校5年生児童とで行われた道德の授業は、参加者にとって新鮮かつ感動的なものとなった。授業での発問の巧妙さや適切な問い返しの様子を目の当たりにし、「深く考える道德授業」の一端を学ぶことができた。ねらい達成のためには、児童の反応をとらえ、道德的な意味づけをしたり、道德的な価値について深く考えさせたりすること、内容項目から授業を構想していくために、内容項目を理解し、それにそって教材分析し発問を考えていくこと等を再確認することができた。

